

環境デザイン学専攻	研究分野	大気環境工学	Lab. ID ED15
研究室Webサイト	http://www.ce.t.kanazawa-u.ac.jp/mfuru/ia/index.html		
研究課題の概要			
研究フィールドは、1)大気環境中ナノ粒子の分級・測定技術の開発、2)大気環境モニタリングと粒子成分に基づく発生源影響の評価、3)環境負荷低減型バイオマスの検討に関するものに大別される。代表的なテーマとして、小流量ナノ粒子リアルタイムモニタの開発、東アジア各地での大気観測と発生源寄与と健康リスク、環境影響の検討、里山資源を活用した薪ボイラー熱供給ステーションによる先導的低炭素地域づくりの検討、などがある。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
博士前期課程の学生は、4年生と研究グループを構成して指導教員と連携して主導的な役割を担う。後期課程学生は単独か前期課程および学部学生と研究グループを構成し、主導的な役割を担う。			
研究室生活の紹介等			
週2回ゼミがあり、それぞれ研究内容の報告と、研究に必要な事項の情報交換を行う。指導教員との研究打合せは、2週間に1度程度決められた日時で行うが、実験結果の報告等の短時間の打合せは随時行う。			
教員からのメッセージ			
何ごとにも柔軟かつ積極的に。他大学から博士前期課程・後期課程に入学する主にアジアからの留学生がメンバーの半数を占めている。			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	環境ナノ粒子オンラインモニタリング技術の開発と応用		
2016.9	Investigation into Characteristics and Emission Sources of Ambient Nano-particles in East Asian Cities Using Nano-particle Monitoring Network (ナノ粒子観測網を利用した東アジア都市域における大気中ナノ粒子の特性と発生源の考察)		
2016.3	気中微生物リアルタイム測定のための微生物蛍光染色特性の検討		
2015.9	Investigation into characteristics of environmental nano-particles using East Asia Nano-particle Monitoring Network (東アジアナノ粒子モニタリングネットワークによる環境ナノ粒子特性の考察)		
2015.3	炭素成分に基づく粒子発生源指標の考察 -カンボジアの大気汚染源の特徴-		
2015.3	農業国タイにおけるバイオマスの生産と利用に由来する大気環境負荷の考察		
2014.9	Characteristics of Ambient Nano-particles in East Asian Cities (東アジア都市域での大気中ナノ粒子特性の考察)		
2014.3	カンボジア都市部の大気汚染物質の特性と発生源指標に関する考察		
2013.9	Investigation into size distribution of standard test dust for performance evaluation of general ventilation air filter (一般換気用エアフィルタ試験粒子の粒子径分布に関する検討)		
2013.9	道路交通起源環境ナノ粒子の特性と発生挙動に関する研究		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
2016.9	環境ナノ粒子高速捕集技術の開発と動態解析への応用		
2016.3	Influences of Agricultural Activities, Forest Fires and Agro-industries on Air Quality in Thailand (農業・森林火災・アグロインダストリーがタイの空気質に及ぼす影響)		
2014.9	Development and Application of a Novel Technology for Evaluation of Personal Exposure and Online Monitoring of Environmental Aerosol Nanoparticles (環境エアロゾルナノ粒子の個人曝露評価およびオンラインモニタリングのための新技術の開発と応用)		
研究室連絡先メールアドレス	古内正美 <mfuruch *@* staff.kanazawa-u.ac.jp>		